

池田エライザ監督、華やかに海外デビュー
全州国際映画祭にて、海外初上映決定！
『夏、至るころ』



平素よりお世話になっております。

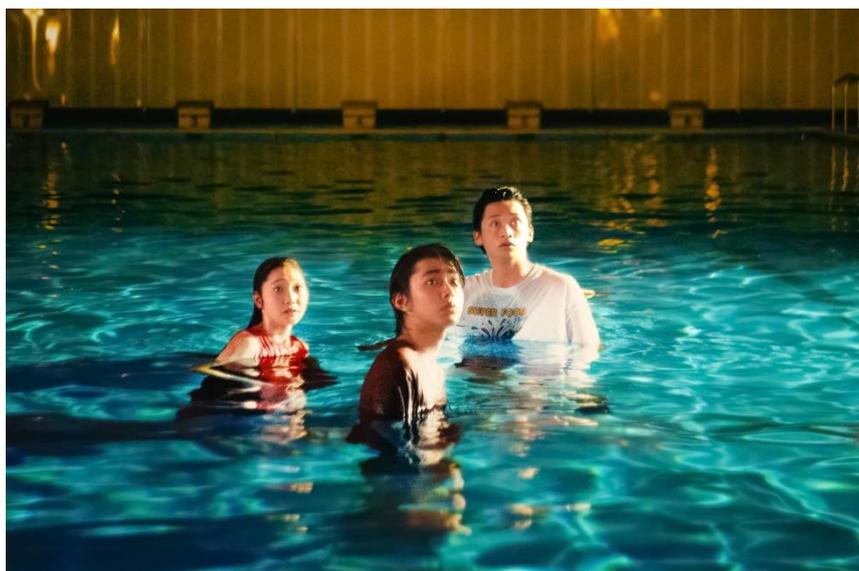
この度、女優の池田エライザが初監督した映画『夏、至るころ』が5月28日から開催される第21回全州（チョンジュ）国際映画祭に正式招待され、海外で初上映されることが決定いたしました。

『夏、至るころ』は福岡県田川市で育った幼なじみの男子高校生ふたりを軸に、青春時代の後悔や挫折、人生の希望や家族の愛を、みずみずしく描き出した物語です。

福岡市出身の池田監督は、昨年、田川市でシナハンやロケハンを開始、地元の人々と交流を深め、8月に田川市オールロケで撮影を行いました。「ふるさと」への思いや、自らの経験を織り交ぜた完全オリジナル作品です。

キャストには、話題の新星・倉悠貴と、全国2,000人の中からオーディションで選ばれた石内呂依、監督の化身ともいえるヒロインに扮したさいとうなりというフレッシュな若手に加え、リリー・フランキー、原日出子、安部賢一、杉野希妃、大塚まさじ、高良健吾ら実力俳優

優が集結。撮影時から、国内外の注目を集めていました。



『夏、至るころ』は、全州国際映画祭の<シネマ・フェスト部門>にて上映されます。同部門では、『蜜蜂と遠雷』『Red』が日本から選ばれています。

池田エライザ監督のコメント

『夏、至るころ』が全州国際映画祭に正式招待されました。池田組、キャスト、スタッフ共々光栄な気持ちです。自粛が続く中、外の香りに想いを馳せている方々へ、一足早く夏の香りをお届けできることを嬉しく思います。何年経っても、あの夏のことは忘れないだろう。きっとそう思える夏を切り取ってまいりました。少年少女ら特有のきめ細かい感情と、和太鼓の爆発的な音に、身を委ねていただければ本望です。



池田エライザ プロフィール

1996年4月16日生まれ。福岡県出身。近年の出演作品には『ルームロンダリング』（18/片桐健滋監督）、『SUNNY 強い気持ち・強い愛』（18/大根仁監督）、『億男』（18/大友啓史監督）、『賭ケグルイ』（19/英勉監督）、『貞子』主演（19/中田秀夫監督）、『一度死んでみた』（20/浜崎慎治監督）、『騙し絵の牙』（20/吉田大八監督）など。

全州国際映画祭プログラム・ディレクター、ムン・ソク氏

(映画雑誌『シネ21』元編集長) のコメント

池田エライザ監督は、韓国でも女優としてよく知られています。監督デビュー作を全州で初めて上映できることになり、プログラマーとして、とても光栄に思っています。『夏、至るころ』(英題: Town without Sea) は俳優出身である池田監督の演出力が余すことなく発揮されているように感じます。新人俳優からでも良い演技を引き出すことは優れた演出家の美德とされますが、この映画こそ、まさにそのケースだと言えるでしょう。監督がまだ24歳であるにもかかわらず、デビュー作でこれほどの演出力を見せてくれたことに大変驚かされました。あまりに称賛しすぎることは、凶らずも監督の未来の妨げになるかもしれず、この辺で終わりにします。しかし、池田監督がこの映画でも引用しているモーリス・メーテルリンクの『青い鳥』の一節のように、“(演出家としての) 幸福は遠くではなく、近くにある”とお伝えしたいです。この映画の舞台である田川の美しい景色、翔と泰我が都に出会うシーンや、三人がプールで騒動を繰り広げるシーンはとても美しかった。そして何より、映画のハイライトにあたる後半の祭りのシーンが最も印象的でした。翔と泰我が感情が激しくぶつかり合い、劇的に緊張し高揚するシーンだからです。そこからエンディングまで一気に駆け抜けるテンポが非常に爽快でした。そして、深く余韻が残るラストシーンでした。

韓国ジャーナリスト・土田真樹氏のコメント

全州国際映画祭は韓国三大映画祭の一つであり、発足時から次世代のクリエイターを育ててきたことで評価が高く、釜山やプジョンと比べても、作家性の強い作品が集まるのが特徴です。もちろん、イ・チャンドン監督の弟であり、『オアシス』や『バーニング 劇場版』などの作品を二人三脚で手掛けてきた大物プロデューサー、イ・ジュンドン氏がフェスティバル・ディレクターであることから、その姿勢は推察されます。彼らに作品が選ばれたことは、アジアの映画界をはじめ、海外に「映画監督、池田エライザの誕生」を知らしめることにつながるでしょう。

キャスト

倉悠貴 石内呂依 さいとうなり

安部賢一 杉野希妃 大塚まさじ 高良健吾

リリー・フランキー 原日出子

スタッフ

原案：監督：池田エライザ 脚本：下田悠子

監督補：金田敬 撮影：今井孝博 照明：長沼修二 録音：菰田慎之介 美術：松本慎太郎

衣裳：木谷真唯 ヘアメイク：釜瀬宏美 助監督：佐藤吏 制作：酒井識人 音楽：西山宏幸

プロデューサー：三谷一夫

企画・田川市シティプロモーション映画製作実行委員会・映画24区

製作：映画24区 企画協力：ABC ライツビジネス

協力：田川市・たがわフィルムコミッション

『夏、至るころ』2020年日本公開予定

【窓口】株式会社映画24区 (三谷) mitani@eiga24ku.jp 080-4947-0262